

第15回愛媛大学教職員作品展企画 「気軽に俳句を詠んでみよう」

八木健賞 特選 (10句)

番	句	所属等	氏名／ペンネーム
1	コーラスの私の声にセミとまる	附属小 四年	鶴田萌恵
2	黄金田にミステリーサークルコンバイン	附属小 六年	山下知聡
3	入道雲戦うように背をのぼす	附属高 一年	高松将史
4	妹かそれとも恋人さくらんぼ	附属高 一年	武知 颯
5	ゆかた着てませた顔する園児たち	附属高 二年	上野こころ
6	残るのは花火のあとのおいだけ	附属高 二年	山内 萌
7	西瓜の種お庭にうめて少しワクワク	附属高 二年	木村若菜
8	永らへて煉獄近し熱帯夜	教職員	山下正純
9	重力を可視化している稲穂かな	教職員	藤原正幸
10	残さずに食べる野良猫秋うらら	教職員家族	佐智子

入選(30句)

1	かぶとむしころしてしまつてすまないね	附属小 一年	隅田眞央
2	あせかいてにわのうえきがねっちゅうしょう	附属小 一年	佐々木康貴
3	おとのバトンせみからすずむしにわたったよ	附属小 二年	鳥越一輝
4	くらやみでパーティーしてるかぶとむし	附属小 二年	松原秀樹
5	ピアノひくきょうのばんそうせみの声	附属小 二年	村上柚香
6	ひまわりがかれてしまつて夏おわり	附属小 三年	大塚英彰
7	ヒマワリを見上げてぼくよりせがのっぼ	附属小 三年	木村広樹
8	じいちゃんちめざまし時計はせみの声	附属小 四年	渡邊彩貴
9	うれしいやキミはなつにはピッタリだ	附属小 五年	伊丹大河
10	イチョウの木黄色いドレスがぬけちゃつた	附属小 五年	川崎 桜
11	朝取りの完熟トマトまるかじり	附属小 六年	中野加奈子
12	読書中あみどでせみがこんにちは	附属小 六年	酒井彩華
13	せみの声窓を閉めてもせみの声	附属高 一年	小原璃理亜
14	白濁の甘くまるやか天の川	附属高 一年	佐々木美緒
15	角がない角さえあればカブトムシ	附属高 一年	中田豊也

16	机上にきれいな緑枝豆一つ	附属高 一年	半田桃子
17	入道雲わたがしみたいておいしそう	附属高 一年	谷川沙希
18	木漏れ日に照らされ光るカブトの背	附属高 一年	東口留衣
19	七夕は希望のつまった宅急便	附属高 一年	吉見春花
20	カタカタと悲しく首振る扇風機	附属高 一年	久保 碧
21	部活中私の背中でせみがなく	附属高 一年	清水茉莉亜
22	せみの声諸行無常の響きあり	附属高 一年	永島充倫
23	見るよりも撮るのに集中花火大会	附属高 一年	山崎萌栄子
24	牛乳をこぼしたみたい天の川	附属高 二年	宮塚理乃
25	腹へった食えたらいいのにいわし雲	附属高 二年	桧垣翔太
26	花火見るその半数はカメラ越し	附属高 二年	山本柊人
27	靴紐をキュッと結ぶ運動会	教職員	大本盛嗣
28	不死鳥のごときタクトよ紅き月	教職員	山内和美
29	熱中症めきし脳内フリーズす	教職員	河野真知子
30	思春期のポケットにある檸檬かな	附属中保護者	光藤紀子